

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MSC TECHNICAL NEWS

No.M720-51-9406

M34229M2TXXXSP, M34229E2TXXXSP, M34229E2DSP,
M34229E2SSの電気的特性の変更

M34229M2TXXXSP, M34229E2TXXXSP, M34229E2DSP, M34229E2SSの「クランプダイオードの注意事項」における「最大入力電圧」の内容が一部変更されましたのでお知らせします。

【該当箇所】

- (1) M34229M2TXXXSP USER'S MANUAL (印刷番号: HU-019A)
- ・ 69ページ 11.1 電気的特性
 - ・ 145ページ 15.6 電気的特性(PROM版)
- (2) '92三菱半導体 Data Book 自動車編 (印刷番号: HD-118C)
- ・ 3-58ページ (M34229M2TXXXSP)
 - ・ 3-71ページ (M34229E2TXXXSP)

【変更内容】

変 更 前

(2) 最大入力電圧

D、Fポートに接続する信号の電圧は、DCレベルで50.0V以下になるようにしてください。過渡的に50.0Vを越える場合は、積分回路などで電圧のピークが50.0V以下になるように対策してください。また、入力電圧が $V_{DD}+0.3V$ 以上か、 $V_{SS}-0.3V$ 以下になる場合、そのときの入力波形がこれらの電圧を越える瞬間から $2\mu s/V$ 以上の遅延を持つようにしてください。また、CRによる積分回路を使用する場合は、次式により遅延値を計算してください。

変 更 後

(2) 最大入力電圧

D、Fポートに接続する信号の電圧は、 $V_{DD}+0.3V$ 以上又は、 $V_{SS}-0.3V$ 以下になる場合、入力波形がこれらの電圧を超える瞬間から $2\mu s/V$ 以上の遅延を持つようにしてください。また、CRによる積分回路を使用する場合は、次式により遅延値を計算してください。